

5. グローバル・リーダーズ・プログラム(GLP)

グローバル・リーダーズ・プログラムは、現実を踏まえた理論的な思考力と優れたコミュニケーション能力を持ち、産官学の現場で活躍できるリーダーの育成を目指し、2013年度より本格的に始動した。その特徴は、英語のコミュニケーション能力と経済学の専門的な知識や考え方の両方を修得できる点である。それを支えるのは、経済学を基礎から体系的に修得できるカリキュラムと、海外の大学で博士学位を取得し、また海外で豊富な教育経験を持つ多数の教員である。英語スキル科目や英語で開講される経済学部専門科目の履修、短期海外調査や1年間の長期留学により、英語のコミュニケーション能力に加えて、深い専門知識、グローバル経済の「現場感覚」、問題解決のための政策提言能力を養成する。

このプログラムは、全学部生を対象とする「グローバル・リーダーズ・カリキュラム」と、選抜された学生のみを対象とする「グローバル・リーダーズ選抜クラス」から構成される。前者は下記の短期海外調査や経済学部独自の英語スキルコース、英語開講の基礎ゼミを含む。2014年度以降、200番台から400番台まで毎年40前後の専門科目が英語で開講されている。200番台コア科目の一部は、英語ネイティブの外国人教員によって英語でも開講された。また、商学部と協力して、学部間学生交流協定校を開拓し、2016年度末現在、欧米諸国を中心に7カ国11大学と学部間学生交流協定を締結し学生の国際交流を行っている(米国ワシントン大学は経済学部のみ)。

学部1年次終了時点において、書類審査、面接により、学業成績や語学力、志望動機などを総合的に評価して15名程度を選抜し、「グローバル・リーダーズ選抜クラス」を形成する。選抜クラス学生は短期海外調査に優先的に参加でき、長期留学に向けてプログラム・コーディネーターから手厚い指導と支援を得ることができる。学部4年間で経済学部専門科目の卒業要件単位の6割以上を(長期海外留学を含めて)英語による授業で修得した学生には、卒業時にHonors Degree(優等学位)として「グローバル・リーダーズ・プログラム修了証書」を授与する。

選抜クラスの第1期生から第3期生まで合計41名が選拔され、2016年度中に第4期生が選抜される。第1期生から第3期生までは2年次に短期海外調査のための基礎ゼミを履修し、夏学期には事前調査と研究発表の準備を行い、夏季休暇中にEU圏諸国(2014年度ドイツ・デンマーク、2015年度フランス・ベルギー・ドイツ、2016年度フランス・スイス)あるいは中国で国際機関・政府機関・企業等の訪問調査と現地の大学生との合同研究発表・討論を行い、冬学期には英文の報告書を作成し、経済学研究科のウェブサイト公開した。第1期生と第2期生のほとんどは既に長期海外留学を終了し、あるいは海外留学中であり、第3期生は2017年度以降に海外留学を予定している。第1期生のうち5名は、2017年度に5年一貫教育プログラムで本学大学院経済学研究科に進学する予定である。

このプログラムは2016年度末に文部科学省の支援を終了し、2017年度からは本学の自主財源(寄附金等を含む)で継続される。このプログラムについての詳細については下記URLを参照されたい。

<http://www4.econ.hit-u.ac.jp/glp/>